

# 木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(20年8月分)

1. 調査実施期間 平成20年 7月20日 ～8月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

8月分の回答企業数は40社、回収率は83.3%である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		20/8月	9月	10月
仕入動向	国産材	△ 21.0	△ 3.2	6.7
	外材	△ 13.2	△ 1.3	2.7
販売動向	国産材	△ 19.4	△ 3.2	1.7
	外材	△ 19.7	2.6	4.1
在庫動向	国産材	△ 14.5	△ 8.1	△ 1.7
	外材	△ 8.1	△ 12.2	△ 5.6

仕入は、国産材、外材ともやや大きなマイナス幅を、秋需に向けて一気のプラス幅へ回復し好調。販売は、国産材、外材ともやや大きなマイナスを一気に縮め、プラス基調と先行き明るい。在庫は、国産材、外材とも小さなマイナス幅でほぼ適性化している。

## (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	20/8月	9月	10月
スギ正角(グリーン)	0.0	2.1	2.2
スギ正角(KD)	4.2	4.2	8.7
ヒノキ正角	4.3	8.7	4.5
ヒノキ土台角	8.3	10.4	6.5
米ツガ正角(現地挽)	△ 9.5	0.0	△ 2.4
米ツガ防腐土台角	4.3	10.9	9.1
米ツガ割物(現地挽)	2.3	4.5	2.3
米マツ平角	18.8	20.8	10.9
北洋アカマツタルキ(現地挽)	50.0	32.6	27.3
ホワイトウッド集成管柱	8.3	12.5	13.0
レッドウッド集成平角	20.0	17.5	17.5
型枠合板(国産)	42.5	30.0	15.8
型枠合板(輸入)	38.6	27.3	14.3
針葉樹合板	45.2	31.0	15.0

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台とも、プラス幅で安定して強含み。米ツガ正角(現地挽)マイナス基調だが堅調。また米ツガ割物、防腐土台ともプラスで安定し好調。米マツ平角大きなプラス幅で安定し一層強気配。北洋アカマツタルキは、一段と大きなプラス幅で絶好調である。今後供給面から大注目される。WW管柱、RW平角ともプラス幅で安定し、漸く本格化の様相。合板(針葉樹合)は大きなプラス幅を縮めるが、好調揺るぎなく一層の強含み。ほぼ全品目プラス基調と漸くマーケットの先行きに明るさ回復している。

1. 荷動き		コメント	
仕入 動向	米マツ一般材丸太では、7月積み米材輸出価格が久しぶりの上げとなった。カナダ材FASはセカンドグロス、カスケードとも変わらず強く、出材は少ない。(東京:問屋)		
	産地工場には製品は有るが殆んどが他国向けで日本向けは皆無。日本向けに対して嫌気が差している。産地価格は依然として上昇中。(東京:問屋)		
	相変わらずの高唱えである。逆ザヤ解消に努めたい。(東京:問屋)		
	良材は積極的に仕入れ、在庫するようにしている。(東京:問屋)		
	外材は在庫が市中に少なくなっており、必要量が確保しにくくなっている。(東京:問屋)		
	アカマツの無い物高に釣られて久しぶりの商いであったが、客は在庫積み増しする程ではない。荷動きの底は打ったと思われる。(東京:問屋)		
	レッドウッド集成平角では、寸法により欠品が出てきた。(東京:問屋)		
	米材仕入れはカナダ大手が減った分減少。その分北欧材を増やしている。(東京:問屋)		
	ヒノキ丸太の新材が出始め、来月・再来月には少し仕入れる予定。(東京:問屋)		
	現地価格が強含みのため、思ったような仕入れが出来ない。(東京:問屋)		
販売 動向	外材製品は7月の当社セールに向け仕入・販売共増加。(東海:問屋)		
	ヒノキ長木、土台等々原木不足で入荷激減。9月中旬頃まで続くと思われる。(東海:問屋)		
	京浜マーケットでは大手港湾製材の米マツKD材値上げを受け、製材販売価格上げに動いているが、抵抗は厳しい。問屋間でも前月の丸太大量入荷により売り姿勢に温度差が見られる。(東京:問屋)		
	細かな受注は増えている。夏期休暇を前にして急ぎが多い。(東京:問屋)		
	底入れ気配。見積りは増、但し当用買いは変わらず。(東京:問屋)		
	見積りも増加傾向にあり、9月以降に期待している。(東京:問屋)		
	8月は実質稼働日が少ない分、売上げも多少減る。(東京:問屋)		
	先月に比べ若干荷動きが良くなっている。(東京:問屋)		
	長木、土台を中心に引き合いはあるものの品不足。(東海:問屋)		
	この時期(夏休み)は仕入れ販売共に悪いが、今年はサブプライム問題が今も景気の足を引っ張っている。(東京:仲買/店舗や住宅改修の仕事はあるが、仕事が続かないのが今年の特徴。新建材等の値上げラッシュで仕事が決まっていけないケースもある。(東京:仲買小売)		
在庫 動向	散発的に新築・リフォーム工事があるが、全般には動き悪く、締めてみると金額は増減なしとなってしまう。(東京:仲買小)		
	荷動き低調なのに価格上昇が続いている。程々の段階で上昇を止めないと一昨年と同じ状況になる。(東京:仲買小)		
	比較的動きの良かったカスケードタイプ米材丸太も、7月の大量入荷を受け、各問屋も在庫負担が増している。(東京:問屋)		
	入荷が少ない事から全体の在庫量は減少。必要な物は皆無で港倉庫の在庫は以前からの物が多い。(東京:問屋)		
	確実に良材の在庫は減っている。各社とも欠品が増えてきている。(東京:問屋)		
	入荷が少なかつたため、在庫は減少、サイズによっては無いものもある。(東京:問屋)		
	アカマツグリーン材入荷不安のため、目一杯在庫中。(東京:仲買小売)		
	先行き、仕入れ価格の上昇を考えると、動き悪くても最低限現状維持となる。(東京:仲買小売)		
	2. 価格動向		
	スギ正角	丸太高に支えられて辛うじて保合。(東京:問屋)	
	物が動かず価格も動かず。(東京:仲買小売)		
ヒノキ正角	ヒノキ丸太は高い。(東京:問屋)		
ヒノキ土台角	原木は柱取りより土台取りが高く異常相場となった。(東海:問屋)		
米ツガ	角、割ともグリーンは大幅減少、KDは変わらず。(東京:問屋)		
米マツ平角	KD平角は完全に値上がり決定。グリーン材は不変。(東京:問屋)		
	中国木材のKD平角3,000円/m3の値上げで他メーカーも追随。グリーン材、小割は据置。(東海:問屋)		
	産地国の集成管柱メーカーの生産調整で価格上昇。(東京:仲買小売)		
北洋アカマツタルキ	KD材が少ない。いつもの1/3量しかもらえない。仕入れ価格上昇分は販売価格にも上乗せする。(東京:問屋)		
	価格、供給面で当分不安定な状況続く。(東京:仲買小売)		
	夏の伐採期に入る前で丸太が少ない。来年1月からの関税引き上げの先取りか？(東海:問屋)		
WW・RW集成材	在庫調整(メーカー)で品薄になり価格強くなってきた。(東京:問屋)		
	RW平角は値上がりをはっきりしてきた。どのくらい上昇するか今後が不安。(東京:問屋)		
	現地製品の入荷少なく国内製品の需要が少々出て来ている。国内メーカーは8月に値上げか？米マツKD材の値上げで値上げムードに追い風か？大手メーカーは8月より2,000円/m3upか？(東海:問屋)		
合板	国産型枠は原木不足。輸入型枠は原木不足に加え船運賃上昇で価格上昇。針葉樹合板はメーカーの30%減産で各社在庫調整が出来、やや強気配。ロシア関税引上げの先取り感もあり。(東海:問屋)		
	メーカーの生産調整により一時的に価格上昇。(東京:仲買小売)		
	合板全般、落ち着く見通しが分からない。(東京:仲買小売)		
	国産構造用合板の動向・方向が目下一番の感心事。(東京:仲買小売)		